

団体名：芦原校区総踊りの会
事業名：芦原校区総踊り～ODORITAI～

様式第2（第8条関係）

事業計画書

No. 1

（つつじ補助金・くすのき補助金）

①事業の区分 (該当する事業にチェック☑)	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業	(11) 国際協力を行う事業		
	(2) 社会教育の推進を図る事業	(12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業		
	(3) まちづくりの推進を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>	(13) 子どもの健全育成を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(4) 観光の振興を図る事業	(14) 情報化社会の発展を図る事業		
	(5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	(15) 科学技術の振興を図る事業		
	(6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>	(16) 経済活動の活性化を図る事業		
	(7) 環境の保全を図る事業	(17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業		
	(8) 災害救援事業	(18) 消費者の保護を図る事業		
	(9) 地域安全事業	(19) 公益社会貢献活動団体の運営又は活動に際する連絡、助言又は援助を行う事業 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業	(20) 前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県条例で定める事業		
②現状把握・分析・事業目的 <input type="checkbox"/> 必要性	<p>(事業実施の理由、地域課題の解決に繋がる事業の目的)</p> <p>芦原校区では、各町自治会主導の行事（納涼祭、子ども会など）が、高齢化や働き方の多様化により人手が足りず縮小/中止、特にコロナ禍以降、住民のつながりの希薄化や自治会に入らない子供たちの疎外感が課題であった。令和7年度に「芦原校区総踊り」をはじめて実施し、アンケートでは9割が満足し次回開催を期待。後日開催した芦原校区市民展で写真やビデオを展示し、来場者から高い評価を得た。今後、更に地域の多くの方に周知し、「総踊り定着化」を進める。</p>			
③事業内容（詳細） <input type="checkbox"/> 実効性	<p>地域と世代を超えて楽しめるイベント（総踊りを中心に和太鼓、抽選会、花火など）のレベルアップと運営体制を強化。自由公募でメンバーを集めて、毎年開催できるように運営ノウハウの蓄積と協力体制を確立する。</p> <p>※参加者見込み：約500人（運営約60人含む）、会場：豊橋市立芦原小学校</p>			
④事業内容（詳細） <input type="checkbox"/> 実効性	事業期間	(事業着手日) 令和8年 4月 1日から (事業終了日) 令和 9年 3月 31日 日まで		
	実施日	内容	会場 参加者数見込	
	4月	事務局打合せ	芦原校区市民館	10人
	6月	全体打合せ（企画、運営）	芦原校区市民館	25人
	8～9月	踊り隊（踊り先導）の練習	芦原校区市民館	20人
9月	総踊り（本番）	芦原小学校	500人	
10月	事務局打合せ（振り返り）	芦原校区市民館	10人	
⑤周知方法・周知先 <input type="checkbox"/> 実効性	芦原地域住民をメイン対象とし、チラシ、ポスターなど、芦原校区回覧、芦原校区市民館、各町内で掲示し、芦原校区市民館ホームページで幅広く周知			
⑥実施体制 <input type="checkbox"/> 実効性	<p>(実施メンバー)</p> <p>芦原校区総踊り事務局（企画・運営）、踊り隊、自治会 自由応募（50名：回覧等で募集・・・自治会各団体の役員に頼らない自主運営）</p>			

（つつじ補助金・くすのき補助金）

<p>⑦事業が公共の利益に寄与すると考える理由及び事業実施による市民(地域)への波及効果</p> <p style="text-align: center;">公益・実効性</p>	<p><理由>令和7年度に新たにイベントを立ち上げ、企画・運営面では<u>新たな交流を生み出し地域住民の親睦を深める場を提供</u>。参加者アンケート（135名）では、「<u>総踊り</u>」を通じて校区の一体感を享受し、<u>笑顔が溢れ地域の「絆」を深める</u>ことができ、<u>次回開催の要望が9割と高かった</u>ため。</p> <p><波及効果>この取り組みの定着化により、<u>安心して安全な街づくり</u>、そして<u>災害時など緊急事態に備えた地域コミュニティの「真の基盤づくり」に貢献</u>。</p>
<p>⑧事業実施後の活動について</p> <p style="text-align: center;">継続性</p>	<p>上記参加者アンケートより、<u>魅力あるイベントを芦原校区で立ち上げることができたこと</u>、更に、実施後に開催した芦原校区市民展アンケートより<u>次回開催に向けた要望が多く反響が大きかった</u>（※1）ことから、<u>総踊りの定着を図る</u>。各町自治会主導で実施するイベントを徐々に減らし、校区全体で取り組みの最適化するシナリオを具体化して課題を明確にしていくと共に、<u>将来の自治会活動の再設計を見据え、地域の暮らしにマッチした活動の定着を図る</u>。</p> <p>※1 芦原校区市民展（総踊り後、写真やフォトビデオを展示）アンケート（生声抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総踊りの写真、ビデオ等素晴らしかったです。感動や思い出がよみがえりました。 ・日頃のみなさんのすばらしい活動の様子をみることができ楽しかったです。また総踊りの写真やビデオなどを見て、準備から当日までのご尽力に感動しました。来年も楽しみにしております。頑張ってください。 ・本年より開催の校区総踊りの様子より当校区の結束の強さを感じた。 ・総踊りの展示が最高でした。来年もよろしく願います。（10人）

（くすのき補助金）

<p>⑨事業の創作的又は開拓的である部分</p> <p style="text-align: center;">先駆性</p>	<p><先駆性>芦原校区では他校区自治会に先駆け、<u>各町自治会の負担を軽減すべく、世代を超えて一緒に楽しめるイベント</u>（総踊りを中心に和太鼓、抽選会、花火など）を、<u>総踊り事務局が専門組織となって企画をレベルアップ</u>。さらに自治会ネットワークの強みを活かして、<u>総踊りの先導役を担うべく踊りに秀でた「踊り隊」（各町代表者）を選出し、和太鼓（西高師町太鼓連）との演出で校区一体の「総踊り～ODORITAI～」を創り上げ、参加者全員が一体感を享受し、地域の「絆」を深める</u>ところがポイント。</p>
<p>⑩事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p style="text-align: center;">専門性</p>	<p><専門性><u>総踊り事務局の体制を強化</u>し、自治会ネットワークの強みを活かし、自由公募で募集する新たなメンバーにノウハウを伝授して <u>One Team</u> を構成し、<u>世代を超えた総力で知恵を結集し、地域と地域外の皆様を含めた新たなコラボレーションによるイベントづくり</u>ができるところがポイント。</p>

備考 内容の記載は簡潔をお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。